

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 18 年 7 月 27 日 (2006.7.27)

【公開番号】特開 2002-94130 (P2002-94130A)  
 【公開日】平成 14 年 3 月 29 日 (2002.3.29)  
 【出願番号】特願 2001-220972 (P2001-220972)  
 【国際特許分類】

**H 0 1 L 33/00 (2006.01)**

**H 0 1 L 23/48 (2006.01)**

【F I】

H 0 1 L 33/00 N

H 0 1 L 23/48 Y

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 9 日 (2006.6.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

底面と側面とを持つ凹部を有するリード電極と、該凹部の底面に載置される L E D チップとが、モールド部材により封止されてなる発光ダイオードであって、

次式で表される光沢度 D は、前記凹部の側面が 0 . 0 5 ~ 0 . 5 の範囲にあり、前記凹部の底面が 0 . 1 ~ 0 . 3 の範囲にあることを特徴とする発光ダイオード。

$$D = \log ( 1 / R )$$

(但し、R は、45 度方向への反射率であり、 $R = ( \text{反射光量} / \text{入射光量} )$ )

【請求項 2】

前記凹部はメッキを有することを特徴とする請求項 1 に記載の発光ダイオード。

【請求項 3】

前記メッキは銀、金、ニッケルから少なくとも 1 つ選択されることを特徴とする請求項 2 に記載の発光ダイオード。

【請求項 4】

前記メッキは銀メッキの上部に金メッキを有していることを特徴とする請求項 2 に記載の発光ダイオード。

【請求項 5】

前記凹部の形状は、発光観測側から観てトラック状若しくは楕円状であることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の発光ダイオード。

【請求項 6】

前記 L E D チップは、窒化ガリウム系化合物半導体であることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載の発光ダイオード。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載の発光ダイオードを複数個配列してなることを特徴とする表示装置。

【請求項 8】

前記表示装置は、同一面側に正負一対の電極を有する L E D チップからなる発光ダイオードと、前記 L E D チップと素子構造の異なる他の L E D チップからなる発光ダイオードとを組み合わせる複数個配列されてなることを特徴とする請求項 7 に記載の表示装置。